

ごっさかいと
五斗長垣内遺跡

およそ1800～1900年前の弥生時代後期の鉄器生産遺跡。12棟の竪穴建物跡で鉄器をつくる作業を行った炉跡が発見されたほか、朝鮮半島製とみられる斧や鏃など100点を超える鉄器が出土し、古代国家成立に重要な役割を果たした鉄器文化を畿内に先駆けて取り入れたことを窺い知ることができます。

〒淡路市黒谷1395-3
☎0799-70-4217 ☎9:00～17:00
※月(祝日の場合は翌平日)、年末年始 ⑤無料
⑥10台 第一駐車場(うち軽1台)(第二駐車場 約15台)
⑦北淡ICより車で約7分

五斗長垣内遺跡 検索



海人の歴史を今に伝える国生み神話の島

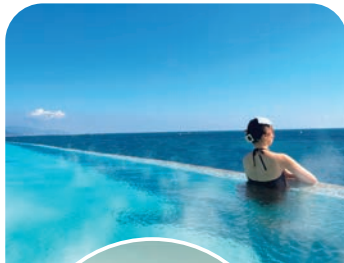
アクアイグニス淡路島

内湯の「伊弉諾の湯」(男女別)と大露天風呂「伊弉冉の湯湯」(水着着用・男女混浴)を擁する淡路島東海岸の天然温泉リゾート施設。「伊弉冉の湯湯」は湯船につかると温泉の水面と大阪湾の海面が溶け込むインフィニティ温泉。場内には飲食店、レンタルサイクルショップがあるほか、車中泊ができる駐車場も。

〒淡路市夢舞台2-28 ☎0799-73-6602
①伊弉諾の湯/伊弉冉の湯湯 8:00～22:00
②伊弉諾の湯/伊弉冉の湯湯 なし
③伊弉冉の湯湯+伊弉諾の湯(インフィニティ温泉&内湯) 大人3,000円、子供1,500円
※上記価格のうち、大人料金には入湯税150円を含みます。その他詳しくは公式HPでご確認ください。
④約200台 ⑤淡路ICより車で約5分

アクアイグニス淡路島 インフィニティ温泉 検索

まるで湯船が
水平線まで続いているよう



伊弉諾神宮

国生みに始まるすべての神功を遂げた伊弉諾大神が余生を過ごした神宅の旧跡と伝えられる日本最古の神社です。聖域の周濠の遺構といわれる放生の神池や、伊弉諾・伊弉冉二柱の御神霊が宿るといわれる樹齢約900年の夫婦の大楠など、境内には神代の伝承にまつわる見どころに満ちています。

〒淡路市多賀740 ☎0799-80-5001
①約30台 第一駐車場(第二駐車場もあり)
②津名一宮ICより車で約5分

伊弉諾神宮 検索



〒淡路市尾崎1798番地3
☎0799-70-9077
①オサキ食堂 7:00～16:00
②なし
③約70台 第一駐車場
④北淡ICより車で約8分
※宿泊情報等詳しくは
お問い合わせください。

SAKIA 検索

ボリュームも
たっぷり!
淡路産牛肉と
玉ねぎの丼



SAKIA

地域の交流拠点をつくらうと旧小学校をリノベーションして誕生した複合施設。1階のレストラン「オサキ食堂」では、淡路島の地野菜・地魚をふんだんに使った多彩なメニューをそろえ、観光で訪れた人にもちろん、地域の人々の憩いの場にも。ほかにサウナ付きホテルやコワーキングスペース、子ども図書館などがあり、多様な淡路島ステイができます。



兵庫県
淡路島

伊弉諾と伊弉冉の二柱の神様が混沌とした大地から日本列島の島々を生んでいくー日本最古の歴史書『古事記』の冒頭で描かれる壮大な天地創造の物語「国生み神話」。その中で、淡路島が最初に生まれた特別な島とされた背景には、大陸や朝鮮半島と畿内を結ぶ大動脈であった瀬戸内海の東端にあり、弥生時代の海の民、そして古代国家の形成期に重要な役割を果たした海人の存在があったのです。
淡路島からは、金属器時代の幕開けとなる弥生時代に作られた銅鐸や銅剣が多数発見されていますが、その多くが海岸部で見つかったことは、海を臨む海岸地帯を神聖な場所とした海の民が携わったことを思わせます。その後、青銅器文化が栄えた南部の平野の集落に取って代わるかのように現れた北部の山間の集落では、畿内に先駆けて鉄器製作が定着し、かつて五斗長垣内遺跡にあった工房では、1000年もの長きにわたって鉄器がつくられました。
かつて海人が古代の先端文化をもたらした淡路島。現代では西海岸や東海岸にリゾート施設が次々と誕生し、リゾート・アイランドとして新たな魅力を発信しています。古代のロマンと現代のリゾートが融合する神話の島を旅してみませんか。



上立神岩(写真提供:淡路島観光協会)

沼島

国生み神話の中で、天沼矛の先から滴り落ちる潮が凝り固まってできた「おのころ島」とされる伝承地の一つ。上空から見ると勾玉の形をした島内には、古墳や製塩遺跡が残るほか、上立神岩をはじめ、巨大な奇岩が島を取り囲んでいるのも特徴です。

〒南あわじ市沼島
☎0799-52-2336 南あわじ観光案内所
①淡路島土生港より渡船で沼島まで約10分

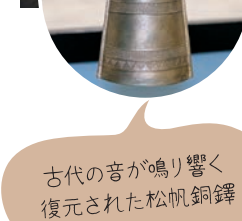
沼島 検索

松帆銅鐸

銅鐸の中に棒状の舌と、舌を吊り下げていた紐の一部が残っている状態で発見された、とても珍しい銅鐸。これにより中に舌をぶら下げて音を鳴らすための「聞く銅鐸」であることが分かり、数十年に一度の大発見といわれています。海岸近くに埋納されていたことから、これも淡路島の海の民が携わっていたのかもかもしれません。

南あわじ市滝川記念美術館 玉青館
〒南あわじ市松帆西路1137番地1
☎0799-36-2314
☎9:00～17:00
※月(月曜日が祝日の場合は翌日)、年末年始
①大人300円、大学・高校生200円、小・中学生100円
(特別展開催時は特別料金)
②23台
③西淡三原ICより車で約5分

松帆銅鐸 玉青館 検索



古代の音が鳴り響く
復元された松帆銅鐸



鉄製の釣針や軽石製の
浮子など海人との関わりを
窺わせる出土品